

流域 だより

第 24 号
2021.3

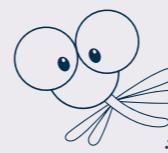
寄稿

千苅水源池を見守り続けて

西谷地区水質保全推進協議会 会長 中井二

今から100年ほど前に自分たちの住居などが水没するにもかかわらず、「羽東川」「波豆川」から武庫川に流れ込む水をせき止め、「多くの神戸市民の命を守る大切な水を提供する」波豆地区住民の英断により千苅水源池が完成しました。以来、武庫川下流域の武庫川六樋など水利関係者との調整を行なながら、戦争や阪神・淡路大震災の困難を乗り越えて脈々ときれいな「水」を神戸市民に送り続けています。

今のきれいな「水」と豊かな自然環境は、水源池が完成する前から祖先より受け継いできた「お米作り」に大切な水を確保するため、農業用排水路の泥上げ、草刈り、ゴミ回収作業などを続けてきた証しだと思います。また、子供たちにも引き継いでいかなければならないと思っています。「水」は人の健康と命を守るときもあれば財産や命を奪い取るときもあります。近年、百年・千年に一度といった激しい雨が降り武庫川下流域の多くの住民が危険にさらされています。千苅水源池の治水（貯水）能力に着目して洪水時の流量調整を行う動きも始まりました。上流の三田市、宝塚市と神戸市そして阪神間の多くの住民を結び付けている千苅水源池をこれからもしっかりと見守り続けていきたいと思います。



【羽東川・波豆川 流域水質保全協議会】

三田市、宝塚市を流れる羽東川と波豆川は、神戸市の水源である千苅貯水池に流れ込む河川です。本協議会は、両河川の水質保全を目的として、流域の住民と三田・宝塚・神戸の3市で協力・連携しながら、様々な事業を行なっています。

おしらせ

2021度のイベントについて

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により羽東川・波豆川流域水質保全協議会のイベントが開催できませんでした。2021年度は、感染状況を十分に考慮した上で、実施の検討を進めています。イベント開催の際は、皆様からの参加のご応募を心よりお待ちしております。



2019年 水源で親子水生生物観察会



今更ですが

三田市 & 宝塚市 & 神戸市

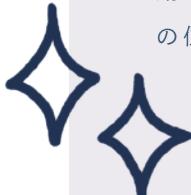
羽束川と波豆川、そして千苅貯水池を守るために、

こんなことをしています

～「羽束川・波豆川流域水質保全協議会」ってなに？～

なんのためにやってるの？

羽束川・波豆川、その流域の環境保全と、2つの川が流れ込み、神戸市の水道水の水源となる千苅貯水池の水質を守るために活動をしています。自治体（三田市・宝塚市・神戸市）と、流域の住民の皆さんとの二人三脚で取り組みを行なっています！



合併処理浄化槽の
点検費・清掃費などへの助成

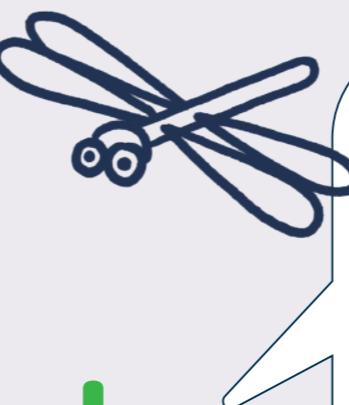
合併処理浄化槽ってなに？

生活排水をキレイに処理することができるものです。合併処理浄化槽を使用すると、川へ放流する汚濁量が、単独処理浄化槽の8分の1、汲み取り便所の6分の1にすることができます。維持管理費の助成を行うことで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に繋げています。



ヒストリー

昭和50年代から、神戸市水道局は三田市・宝塚市と連携して、水道水質保全のための活動を行なっていました。平成5年に、さらなる水質保全と流域の環境美化を目的とし、3市により「財団法人羽束川・波豆川流域水質保全基金」を設立しました。その後、平成21年には更に住民主体の活動とするため、流域住民団体と三田市・宝塚市及び神戸市水道局で構成される現在の「羽束川・波豆川流域水質保全協議会」になりました。



イベント



生活排水の対策



川の環境美化



- 水源探訪バスツアー

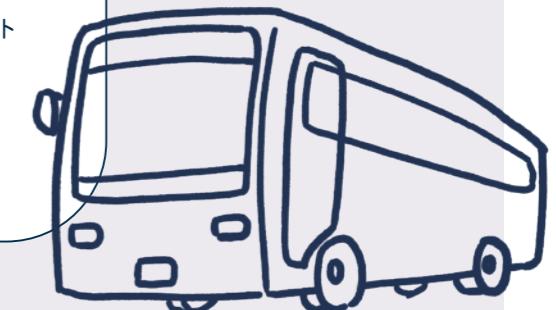
神戸市民が水源を知るとともに、自然と水の関わり合いを実感するイベント

- 水源で親子水生生物観察会

親子で羽束川の水生生物の観察を行うイベント

- 千苅クリーン交流

千苅貯水池で、流域住民と神戸市民が清掃活動を通じて交流するイベント



活動のお金はどうなってるの？

年間の活動のための予算は890万円です。神戸市が800万円、宝塚市が75万円、三田市が15万円を出し合っています。

- 流域の皆さん実施している清掃やパトロール活動への助成

- 学習会への助成

- 不法投棄防止看板の設置

